

目久尻川 水生生物による水質調査 実施報告

[戻る](#)

- 日時：平成20年9月4日（木）9:00～12:00
（8月23日予定したが雨が続きこの日になった）
- 調査場所：(1)クリーンセンター前の小石がある川の中
(2)宮山橋下の川の中
- 参加者：エコネット7名
- 実施状況

●内容：神奈川県環境農政部大気水質課長名で調査依頼がある『水生生物による水質調査』を実施する。県より配布されたパンフレットにより実施する。川に入り、深さ30cmくらいでこぶしや頭くらいの石のある場所・川岸の小さな石、砂のところを調べる。下流側に網を置いて石を取り上げバケツ・バットに入れる。石を取り上げた後の川底を足でかき混ぜ、流れてくる生物を捕まえる。川岸に運んでバットの中に入れ、ルーペで観察し判定用シートの生物と比較し記録用紙に記入する。

●調査結果

- (1) クリーンセンター前：川の中心部・川岸部分で採取した。水深は15～30cm、流れの速さは速い（秒速60cm以上）、中心部の川底は頭大・拳大の石があり、川岸部分の川底は泥で水は少し濁りがある。採取した指標生物は（水質階級Ⅰ）カワゲラ 4、（水質階級Ⅰ）カゲロウ 20、（水質階級Ⅲ）ヒル 6、（水質階級Ⅲ）ミズムシ 2、（水質階級Ⅳ）アメリカザリガニ 1 で水質を判定するには指標生物の種類が少なくデータ不足。

指標生物以外では、アメンボウ・ヨコエビ・タモロコ・ギンブナ・ドジョウ・ヨシノボリ・ミシシッピーアカミミガメを採取した。

- (2) 宮山橋下川の中心部・川岸部分で採取した。水深は15～30cm、流れの速さは速い（秒速60cm以上）、中心部の川底は拳大の石があり、川岸部分の川底は泥で水はすこし濁りがある。採取した指標生物は（水質階級Ⅰ）カゲロウ 2、（水質階級Ⅲ）ヒル 4、（水質階級Ⅳ）アメリカザリガニ 1 で水質を判定するにはデータ不足。指標生物以外では、メダカ・オイカワ？稚魚・ヨシノボリ・モクズガニ・ミズスマシを採取した。

- 感想 8月27-29日の3日連続で激しい雷雨があり水量が多くなったため、生物が流された可能性もある。この調査はいつれにしてもエコネットでは初めての調査であり、今後毎年継続して調査しデータを蓄積していきたい。
なお、調査結果は町環境課から県に報告することになる。

<写真の説明>

- 写真1：クリーンセンター前
写真2：水生生物調査
写真3：水生生物調査（カワゲラ）
写真4：水生生物調査（タモロコ）
写真5：水生生物調査（ギンブナ・ドジョウ）
写真6：水生生物調査（アメリカザリガニ）
写真7：水生生物調査（ミシシッピーアカミミガメ）
写真8：水生生物調査（モクズガニ）
写真9：水生生物調査（ヨシノボリ）

写真1



写真6



写真2



写真7



写真3



写真8



写真4



写真9



写真5

